

テスト構造化ツール「テストツリー」による 効率的なレビューの実践

T I S 株式会社
竹内 祐介

アジェンダ

1. テストケースレビューの必要性
2. プロジェクトの課題
3. レビュー効率向上のための方策
4. テストツリーの紹介
5. テストツリーの導入効果
6. まとめ

1. テストケースレビューの必要性

現在テストの自動化が進んでいる

Cactus

JUnit

- どのようなテストケースを作成するかはテスト設計者のスキルに依存している
- テスト設計者は経験の少ないSEがアサインされがち

お世話になって
おります。

レビューによるテストケースの品質確保が重要

2. プロジェクトの課題

ある保守プロジェクトのPLの課題...

テスト設計者は
1~2名

機能テストのお話

- リリース頻度が高かった(月1回)
 - レビュー頻度が高い(月4~5回)
- テストケース設計者の経験が少なかった
 - 念入りなレビューが必須
- テストケースは量が多い(テスト300~500ケース)
 - レビューに時間がかかる(1回2時間程度)

レビューの負荷が高く、効率化を行う必要があった

3. レビュー効率向上のための方策

レビュー時間を短縮するには?

$$\text{レビュー時間} = \text{1 理解する時間} + \text{2 検査する時間}$$

1. テストケースをすばやく理解できる
2. テストケースをすばやく検査できる
検査方法自体の効率化
テストケース自体の品質が良い

3. レビュー効率向上のための方策 ~従来のレビュー~

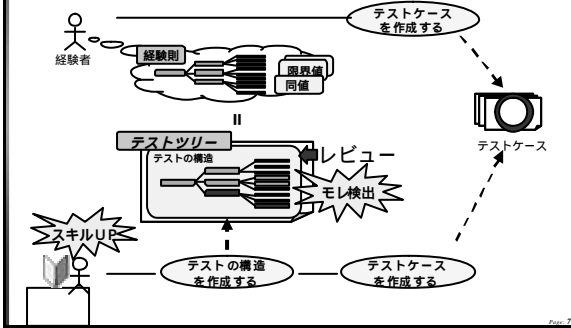
今までどうやってレビューしていたか?



テストケースそのものよりも、
テストケースを作成する手順をレビューしたほうが効果的

3. レビュー効率向上のための方策 ~作成手順のレビュー~

テストケース作成手順のレビュー方法は?



4. テストツリーの紹介 - サンプル -

テストケースの全体構造をツリー上に表現したもの
(ロジックツリーがベース)

【テストの目的】...何をテストするのか
受注伝票の発行権限は、以下の条件を満たしている場合のみ可能なことを確認する。
・アクセス権限があること
・必須入力項目が記入されていること
・承認済であること

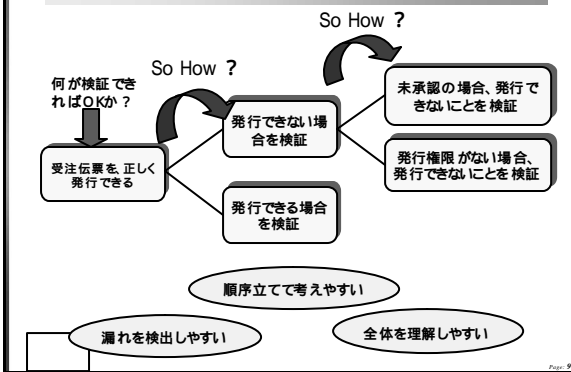
目的の確認 (What)
何ができれば OKか

【テストツリー】...テストほどのような構造が

No.	テスト対象	実行条件	必須入力項目	承認ステータス	実行可否
1	受注伝票の発行	承認済	未入力	承認済	必須項目が未入力で承認済はありえない 発行できない
2			未承認	未承認	発行できない
3			未承認	承認済	発行できない
4			未承認	承認済	発行できない
5			未承認	承認済	必須項目が未入力で承認済はありえない 発行できない
6			未承認	承認済	発行できない
7			未承認	承認済	発行できない
8			未承認	承認済	発行できない

テストの全体構造
どのようにテストするか (How)

4. テストツリーの紹介 ~テストケースの洗い出し方法~



5. テストツリーの導入効果

- ・レビュー効率アップ
 - ✦レビューが全体像を理解しやすくなった
 - ✦欠陥をすばやく指摘できるようになった
- ・テストケース設計者のスキルアップ
 - ✦レビュー前テストケースの品質向上
 - ✦繰り返すことでより高い効果あり

レビュー時間を約30%削減できた

平均120分が80分!
・テストツリーのレビュー 60分
・テストケースのレビュー 20分

6. まとめ

テストツリーの導入により
設計過程の検証を行うことができた

- ・レビューの効率化
- ✦テスト設計者のスキルアップ

レビューを教育の場として活用すべき

OJTで使ってみませんか?